

適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)について陳情しました

2023年10月1日開始予定の適格請求書等保存方式(いわゆるインボイス制度)では、他業種にわたる小規模事業者・個人事業主が新たな対応を求められ、全国通訳案内士にも多大な影響があります。JGAでは8月8日にまず制度概要を理解するための勉強会を実施しましたが、その後に実施しましたアンケート等では、現状での導入延期や中止を願う声が多く寄せられました。

また、個人事業主・フリーランスが一般的な業界を始め、各種業界団体からも制度の延期や中止を求める声明や陳情が出されています。

そこでこの度、JGAと全日本通訳案内士連盟(JFG)共同で、三ツ林裕巳衆議院議員に面会し、コロナ禍を踏まえた全国通訳案内士の状況をご説明するとともに、制度の延期または中止を要望する陳情書をお渡しいたしました。

陳情書には石川県通訳案内士協会、富山県通訳案内士協会、長野県通訳ガイドネットの3団体もご賛同下さいました。



【写真】

三ツ林裕巳 衆議院議員(自民党) 衆議院厚生労働委員会委員長・元内閣府副大臣 と
10月6日(木) 10:00 衆議院議員第2議員会館にて。

左から JFG 副理事長・理事長・三ツ林議員・JGA 伊藤淳子会長・西澤静江会員

三ツ林議員は本年1月にJGA・JFG共同で面会して長引くコロナ禍での全国通訳案内士への支援をお願いして以来、全国通訳案内士の状況をご理解下さり、4月の国土交通大臣への面会にもご尽力下さいました。今後も全国通訳案内士の声が届くようご支援下さるとのお言葉をいただきました。

JGAでは、引き続きインボイス制度について情報収集を続けるとともに、各所の指導を仰ぎながら対応に努めて参ります。